

### 1 計画の定量的な目標・効果とその評価手法

- 計画の指標の進捗を毎年度計測し、中間目標値と照らし合わせて進捗を評価します。
- 次年度の協議会で評価を公表し、必要に応じて今後の施策および目標値の修正を行います。

成果指標	データ取得方法	現況値 (令和4年度)	目標値 (令和10年度)	目標値の 設定根拠
<b>目標① 安心して暮らし続けるための公共交通の整備</b>  <b>P.56</b>				
新たな手段による公共交通の運行を開始した地区の数	令和元年度以降に「バス車両による定時定路線運行」以外の方式によって運行を開始した事業について、運行区域が含まれる行政区の数を集計する。 行政区の区分は、島田市ホームページで公開している人口統計における行政区の区分と同一とする。	6地区	12地区	計画期間内に倍増を目指す。
公共交通カバー率	人口メッシュマップおよび公共交通カバー図の重ね合わせから、公共交通がカバーする範囲に居住する人口の全人口に対する割合を算出する。人口データは直近の国勢調査結果から取得する。 公共交通がカバーする範囲は以下の範囲の組み合わせとする。 ・鉄道駅から半径800m以内 ・バス停から半径300m以内 ・デマンド交通が運行する区域 カバー範囲がメッシュ単位の一部にかかっている場合は、その面積率で該当するメッシュ単位に居住する人口を按分する。	73.4%	78.7%	都市計画マスタープランの計画期間(令和22年度)にカバー率100%を目指すこととし、それを達成できるペースを基に本計画期間の最終年度(令和10年度)における目標値を算出した。
<b>目標② まちづくりと連動した公共交通網の形成</b>  <b>P.58</b>				
中心市街地コミュニティバス乗降者数	旧市内・大津地域の居住誘導区域内に立地するバス停で1年間に乗車あるいは降車した人数を集計する。	141,301人	214,000人	地域公共交通利用者数(171,814人→260,000人)と同じ増加率を目標とする。
中心市街地における歩行者等の通行量	島田市中心市街地歩行者等通行量調査(各年11月頃に実施)における中心市街地5地点の歩行者及び自転車の通行量の合計値を算出する。	(令和10年度推計値) 5,836人/日	6,033人/日	立地適正化計画の目標値(令和22年度時点で5,700人)を達成できるペースを基に本計画期間の最終年度(令和10年度)における目標値を算出した。

目標③ みんなで支える持続可能な公共交通の実現 🔍▶ P.60

地域公共交通 運行平均収支率	島田市コミュニティバスの各路線の収支率(運賃収入÷運行経費)を算出し、その平均値をとる。	10%	20%	デジタル田園都市構 想総合戦略における 目標値(KPI)によ る。
外出支援事業を 実施する団体数	年度末時点において、外出に困難を抱える地域住民を支援する目的で運行事業を実施する団体の数を集計する。	4団体	8団体	計画期間内に倍増を 目指す。

目標④ 誰もが利用しやすい公共交通サービスの提供 🔍▶ P.62

地域公共交通 利用者数	島田市コミュニティバス(デマンド運行含む)及びスクール混乗バスの当該年度の利用者数を合計する。	171,814人	260,000人	デジタル田園都市構 想総合戦略における 目標値(KPI)によ る。
公式SNSアカウント フォロワー数	島田市コミュニティバスの情報を発信する SNS アカウントの年度末時点におけるフォロワー(投稿内容を見られるように登録したアカウント)の数を合計する。	399	1,000	1年で100人増ペー スを目指す。

## 2 計画と補助事業の実施、評価スケジュール

